



『ふるさとの森』整備工事に伴う通行止めについて



ふるさとの森の遊歩道整備および老朽化した看板の撤去工事のため、遊歩道の一部または全面通行止めになる場合があります。歩行者に危険が及ぶ作業を行う場合は、該当区間および遊歩道内に通行止め等の看板を設置しますので、立ち入らないようお願いします。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

問合せ／観光・交流担当（内線1622）

- 場所 ふるさとの森 遊歩道内
- 期間 11月27日(月)から 平成30年3月20日(火)
- 時間 午前7時から 午後5時



排水設備工事責任技術者資格の有効期限は5年間であり、資格登録者は5年ごとに資格登録更新の手続きをする必要があります。

更新対象者には、資格登録更新実施案内および申込書等を後日郵送しますので、期間内に手続きを行ってください。

■更新対象者

平成24年度に北海道排水設備工事責任技術者試験に合格した方、または資格登録更新手続きを行った方で、資格登録期間が平成30年3月31日で満了する資格登録者

■受付期間

平成30年1月10日(水)から1月18日(木)まで
午前9時から正午まで、午後1時から午後5時30分まで

■更新方法

手続き終了後、更新用テキストを配布します。

■手数料 7,000円

〔更新手数料（テキスト代込）および資格認定証交付等〕
手数料として

■申込場所 建設水道部 上下水道課 管理担当

問合せ／管理担当（内線4514）

平成30年度 町立認定こども園(幼稚園型)の入園児の募集をお知らせします



1 募集幼稚園・募集年齢など

園名	募集年齢	提出書類	連絡先
認定こども園 中西別幼稚園	① 3歳児（平成26年4月2日から平成27年4月1日までに生まれたお子さん）	・支給認定申請書兼入園申込書	75-6604
認定こども園 上西春別幼稚園	② 4歳児（平成25年4月2日から平成26年4月1日までに生まれたお子さん）	・保育を必要とする事由を証明する書類（児童の両親と18歳以上65歳未満の同居者全員分）	77-2653
認定こども園 野付幼稚園	③ 5歳児（平成24年4月2日から平成25年4月1日までに生まれたお子さん）	・その他、必要に応じ町長が定める証明書（該当者のみ。）	86-2836

※町立認定こども園（幼稚園型）の運営内容、入園基準等詳細は、下記へお問い合わせください。

2 募集期間 12月6日(水)から12月25日(月)まで

3 申込み 入園希望する幼稚園に、提出書類を提出してください。 入園申込書等の用紙は、各幼稚園にあります。

問合せ／学校教育・適正化等担当（内線3513）、各幼稚園

平成
29年度

全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査結果の公表にあたって

教育課程の編成および授業改善や児童生徒の学習状況の改善等に役立てることをねらいとし、全国学力・学習状況調査が実施されました。本町では、この結果を基に、家庭、学校、地域の連携を深め、学力向上の取組を推進します。なお、調査結果については、以下のことにご留意願います。

- 調査の目的や調査結果は、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であること。
- 全道および全国の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をおおるものではないこと。

2 調査の概要

- (1) 調査の目的 ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育委員会施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (2) 調査実施学年 全小学校6学年および全中学校3学年
- (3) 調査の内容 ①教科に関する調査（国語、算数・数学）
問題A 主として「知識」に関する問題 問題B 主として「活用」に関する問題
②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果 正答数÷問題数＝平均正答率（％）

●高い・低い：3％以上5％未満 ●やや低い・高い：1％以上3％未満 ●同程度：1％未満

(1)小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
別海町と全道・全国との数値比較	全道よりやや低く 全国よりやや低い	全道と同程度で 全国よりやや低い	全道より低く 全国より低い	全道より低く 全国より低い
全道	74.0%	56.0%	77.0%	44.0%
全国	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%

(2)中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
別海町と全道・全国との数値比較	全道・全国と同程度	全道よりやや高く 全国よりやや高い	全道よりやや高く 全国と同程度	全道と同程度で 全国よりやや低い
全道	77.0%	72.0%	64.0%	47.0%
全国	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%

(3) 考察

小学校の国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っています。

算数Aでは、「図形」で全国を上回っています。しかし、算数A、Bとも全道・全国と差が見られます。

知識や技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立てる力を伸ばす必要があります。

中学校の国語Aでは「書くこと」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域で全国を上回っています。

数学Aでは「図形」「関数」で全国を上回っています。数学Bでは「関数」で全国を上回っています。

全体的に良い傾向にあることから、今後も学力向上に向けて、組織的、継続的な実践を積み重ねていく必要があります。

教科に関する調査（一部紹介）※特に顕著な問題；「出題の趣旨」問題の概要

	全道・全国より高い回答の問題	全道・全国との差が見られる回答の問題
小学校 国語A	・問題⑦「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く」 箱が お いてあります。→ 置 いて	・問題②－2「手紙の構成を理解し、後付けを書く」手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。
小学校 国語B	・問題①「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモの良さをとらえる」話し合いの中でスピーチメモの良さを 書く 。	・問題③「登場人物の相互関係や心情、場面について描写を捉える」文章を読み、場面についての適切な言葉を選択する。
小学校 算数A	・問題⑦「立体の画と画の位置関係を理解している」立法体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ。	・問題②－(4)「商を分数で表すことができる」 $5 \div 9$ の商を分数で表す

小学校 算数B	問題⑤－(1)「示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を示している図を判断できる」基準の図に対して、比較された図の割合を正しく表している図を選ぶ。	問題①－(3)「問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる」2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く。
中学校 国語A	問題⑨－2「文脈に即して漢字を正しく書く」雨で運動会がえんきになる。→延期	問題⑥－2「場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する」登場人物を整理したもの当てはまる組み合わせを選択する。
中学校 国語B	問題②－3「相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す」スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。	問題①－2「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。」地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す。
中学校 数学A	問題⑧「命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができる」事柄$\angle A B D = \angle C B D$ $\angle A D B = \angle C D B$ならば $A B = C B$である仮定をすべて書く。	問題⑭－(2)「与えられた度数分布表についてある階級の相対度数を求めることができる」6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。
中学校 数学A	問題③－(3)「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる」与えられた式から、αの変域に対応するβの変域を求める。	問題5－(3)「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」ある意見を主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。

☆問題を最後まで回答しようとする傾向

小学校・中学校とも、全ての問題に回答しようとしていますので、無回答率が全道・全国よりも低い傾向です。この結果から児童生徒が問題を最後まで、あきらめず、粘り強く、回答しようとしている姿勢が伺えます。

4 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果 (%)

本町では、「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを止めて外遊び」の定着を啓発しているほか、「スイッチOFF22」などSNS使用に関する意識の改善を図っています。「スイッチOFF22」とは、午後10時以降のSNS使用を、自分で制限する取り組みです。昨年度同様に、これらの啓発活動に関する調査結果について公表します。

(1)「朝食を毎日食べていますか」の調査に関すること

A 食べている B どちらかといえば食べている C あまり食べていない D 全く食べていない

小学生	A	B	C	D	中学生	A	B	C	D
別海町	82.1	14.3	3.6	0.0	別海町	85.9	9.8	3.7	0.6
全 道	84.4	9.7	4.6	1.2	全 道	81.4	10.9	5.5	2.1
全 国	87.0	8.4	3.7	0.9	全 国	82.7	10.5	4.9	1.9

○生活習慣の確立に向けた取り組みを家庭と連携したことなどにより、朝食を食べている児童生徒（毎日・どちらかといえば食べている）が増えており、生活習慣が改善されています。

(2)「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の調査に関すること

A している B どちらかといえば、している C あまりしていない D 全くしていない

小学生	A	B	C	D	中学生	A	B	C	D
別海町	31.4	35.7	22.1	10.7	別海町	24.5	37.4	27.6	10.4
全 道	30.9	34.5	25.5	9.0	全 道	19.1	32.1	33.6	15.2
全 国	30.0	34.5	26.1	9.4	全 国	18.6	32.9	33.9	14.5

○本町独自の年3回の家庭学習ウィークの取り組みや各校における啓発により、家庭学習の習慣が定着してきています。

(3)「自分には、よいところがあると思いますか」の調査に関すること

A 当てはまる B どちらかといえば、当てはまる C どちらかといえば、当てはまらない D 当てはまらない

小学生	A	B	C	D	中学生	A	B	C	D
別海町	41.4	38.6	15.7	4.3	別海町	32.5	36.8	20.9	9.8
全 道	36.0	39.0	16.6	8.5	全 道	29.2	40.7	20.6	9.4
全 国	38.6	39.3	14.9	7.0	全 国	28.2	42.5	20.5	8.6

○将来の夢や希望、自らの考えを述べる活動を推進したことにより、自尊感情や自己肯定感が高まりつつあります。

5 今後の取り組み（継続）

- (1)学 校 ①授業改善に向けた組織的な取り組み ②学力向上プランの修正、改善 ③校内研修の活性化
 (2)家庭・地域 ①家庭学習の充実 ②基本的な生活習慣の確立、改善や見直し
 (3)教育委員会 ①別海型コミュニティ・スクールの推進 ②本町独自事業の「生き抜く力向上策定プロジェクト」の推進
 問合せ／学校教育・適正化等担当（内線3511）